



新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

## オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第100号

### 「福翁百話」を読みました！



皆さん、お元気でしょうか？ 当ニュースレターも100号を迎えることができました。この形式（バージョン）になってから100回も発行できたのは奇跡だと思いますね(苦笑)。ひとえに読者の皆さんの応援の賜物だと感謝しています。ありがとうございました。今回は100号を記念して「福翁百話 現代語訳（角川学芸出版、¥859、福沢諭吉著、佐藤きむ翻訳）」をご紹介します！

著者は誰でも知っている歴史的な人物ですし、詳細はネット検索すればすぐに分かりますので、紹介は割愛しますね。本書は晩年、新聞連載した内容をまとめたものです。大学生の頃に「学問のすすめ」と「福翁自伝」を読んだことがあります。古本屋さんでアルバイトしていた際に店頭で見つけ、安く譲ってもらいました(笑)。ただ、本書を読んだことはありません。

本書を読むことで「宇宙から男女関係」まで、福沢の幅広い考え方が分かります。誌面の制約がありますので、百話の中から僕が興味を持った二つのお話だけをご紹介します！

#### 「63 空想は実行の元素なり ～無限に考えて実行は万分の一」

常に凡人俗人の思いの及ばないところに心をはせて、様々な想像を無限に描き、百千の新案を考えて胸裏に貯え、機会を見て世に発表したり実行したりということでありたい。(中略)それほどまでに注意し、それほどまでに深く考えて、はじめて思うところの万分の一を言い、言うところの万分の一を行うべきである。(P181) この考え方は、まさしく新商品や新サービスの開発プロセスと同じです。この時代にポストイットがあれば、アイデア出しのために福沢は歓喜して使ったかもしれませんね～。

#### 「70 高尚の理は卑近のところにあり ～「いろは歌」にも深遠なことわりがある」

文明の思想を世に明らかにし、貴賤貧富すべての凡人俗人たちを誘導して、小範囲では個人の気品を高め、大きく広げては国全体の位を高めようとする方法は、必ずしも学校での教授法だけに限られてはいない。身近な目の前にある物について話すことをまず試み、談笑しながら遊びながらのありふれた問答から、次第に深遠な内容に入らせるという方法はたくさんある。(P200) どこにでもある物にも深遠な世界があることを主張していますね。今で言えば「量子力学」にまで、繋がる話だと思います。

130年前に書かれたものですが、今でも通用する教訓が書かれているので勉強になりました。よく言われる「昔も今も人間の本质は変わらない」というのは正しいですね。壱萬円の肖像も福沢諭吉から渋沢栄一に変わりますので、今度は「論語と算盤」でも読んでみます。※ちなみにAmazonで渋沢栄一を調べてみると、「渋沢百訓」という本があることを発見しました。昔の偉人は「百」が好きみたいですね(笑)。

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒571-0047 大阪府門真市栄町6番9号 門真プラザ610号

発行日 2023年10月2日

TEL06-6991-9627

Email: info@1project-support.com

https://1project-support.com

Copyright 2023 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved